



12月のほけんだより

境南第2保育園

これから増えるのが「おなかの風邪」と言われる「感染性胃腸炎」です。予防のためには、手洗いやうがいが必要です。おう吐した時の処理の仕方や、水分の与え方など参考にしてください。



おう吐物の処理方法

おう吐物は二次感染を防ぐために、速やかな処理が必要です。窓を開けて換気を行い、処理をしましょう。



<おう吐物の付いた衣類の洗い方>

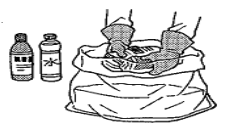
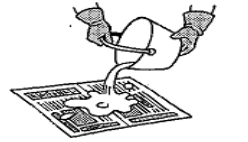
消毒液を薄めて、衣類を2時間程漬け置きした後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう。

<おう吐物処理で用意する物>

- ・使い捨て手袋 ・使い捨てマスク ・バケツ ・雑巾
- ・ビニール袋 ・使い捨てエプロン
- ・シューズカバー(ヘアキャップ等で代用)
- ・消毒液(塩素系漂白剤など)⇒原液濃度5%の場合、500mlのペットボトル1本の水に原液10ml(ペットボトルキャップ2杯)

<手順>

- ① 手袋・マスク・エプロン・シューズカバーをして、捨ててもよい布や紙を嘔吐物にかぶせて飛び散りを防ぎ、消毒液をかける。
- ② 嘔吐物を外側から内側に集めるように拭き取る。
- ③ 拭き取った物は、消毒液を適量入れたビニール袋(2重)へ入れて、密封する。
- ④ 汚れた所とその周辺を、消毒液に浸した布で拭き取る。
- ⑤ 使った物(貼布した布、手袋・エプロン・マスク・シューズカバー)を全て、ビニール袋(2重)に入れて、密封し捨てる。
- ⑥ 最後に石けんで、しっかり手を洗い、うがいをする。



吐いたときは…

1. 口をすすぐ

- うがいのできる子は、口をすすいでさっぱりさせます。
- 小さな子は、大人がコップで水を口に注ぎ、吐き出させます。

2. 着替えをする

- においが残っていると吐き気を誘ってしまうので、服が汚れていたら着替えをします。

3. 横になって安静にする

- 吐いても気分がよくなる時は、横になって安静に過ごします。
- ＊吐いたものを気管に詰まらせないように横向きにします。

4. 水分を補給する

- 吐き気が治ったら、少しずつこまめに水分をとらせます。

下痢やおう吐で、保育園をお休みをした方がいいときのめやす

<下痢の時>

- 24時間以内に2回以上、水のような形のない便がある
- 食事や水分をとると下痢がある(1日に4回以上の下痢)
- 下痢とともに、体温がいつもより高めである
- 朝、おしっこが出ない

<おう吐の時>

- 24時間以内に2回以上吐いた
- (1回でも)吐いていて⇒いつもより体温が高め、機嫌が悪い、元気がない、顔色が悪くぐったりしている

＊厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」より

12月保健日程(予定)

0歳内科：18日(月) 全体内科：25日(月)